

アペックスの肌分析データから解析 コロナ前後でのライフスタイル・体調と肌変化を比較

ライフスタイル・体調は睡眠の改善、紫外線にあたる機会の減少、 運動不足、むくみの悪化、PC・スマホを見る機会の増加 肌はシミ・くすみ・うるおいが良化し、ニキビリスクは悪化

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、コロナ前後でのライフスタイル・体調と肌変化について、ポーラのパーソナライズドサービスブランド「APEX（アペックス）」の2019年7月～2020年3月（コロナ前：1回目の緊急事態宣言が発令された2020年4月より前の9か月間）と、2020年7月～2021年3月（コロナ後：前述したコロナ前の翌年同期間）の分析データを集計し、比較しました。

その結果、ライフスタイル・体調においては「睡眠不足」「朝すっきり起きられない」「紫外線によくあたる」に当てはまると回答した方の割合が上記コロナ後期間で減少しており、「PC・スマホをよく見る」「運動不足」「顔や足がむくみやすい」に当てはまると回答した方の割合が増加していることが分かりました。このことから、ステイホームにより外出を控えたことやテレワークの導入で紫外線にあたる機会が減少、新しい生活様式の中でライフスタイルを見直し、睡眠時間の確保や睡眠の質改善を意識した方が増えたと推測されます。一方で、外出を控えたことにより運動不足やむくみを感じる方が増加し、WEBサイトでの購買行動やテレワークの普及などの社会のデジタル化促進によりPC・スマホを使用する機会が増えたと考えられます。

肌分析では、シミの要因である「メラニン」、くすみの要因である「にごり※」、肌の乾燥状態を左右する「うるおい」が良化し、「ニキビリスク」が悪化しているという結果となりました。「メラニン」「にごり」は紫外線にあたる機会が減少したことが要因の一つとして考えられます。また、肌のうるおいに良い影響を与える睡眠時間の確保や睡眠の質が改善されたことが「うるおい」の良化に寄与したと考えられます。「ニキビリスク」は、長時間のマスク着用の影響が考えられます。

※肌の明るさが低下して暗く見えること

調査詳細

- 調査期間：2019年7月1日～2020年3月31日と2020年7月1日～2021年3月31日
- 調査対象の肌分析件数：196,523件
- 調査方法：アペックスの肌分析において、ライフスタイル・体調に関する各項目にチェックをつけた方、つけなかった方の割合を、上記それぞれの期間で比較しました。また、肌分析項目において、上記それぞれの期間における「1：悪い～5：良い」の5段階スコアの平均値を比較したところ、「メラニン」「にごり」「うるおい」「ニキビリスク」の項目で有意差が認められました。（t検定、 $p < 0.05$ ）

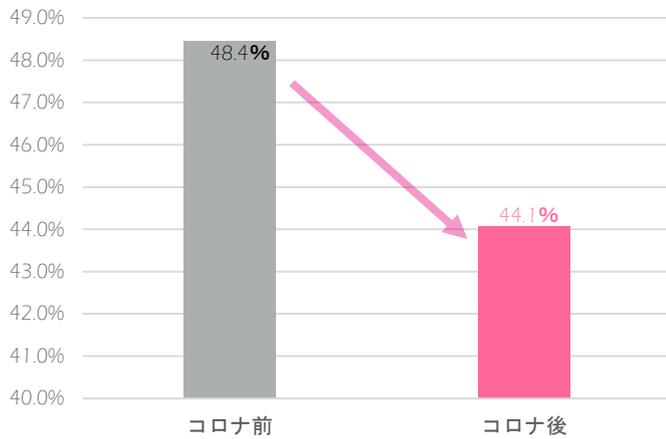
【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

【各項目の比較データ】

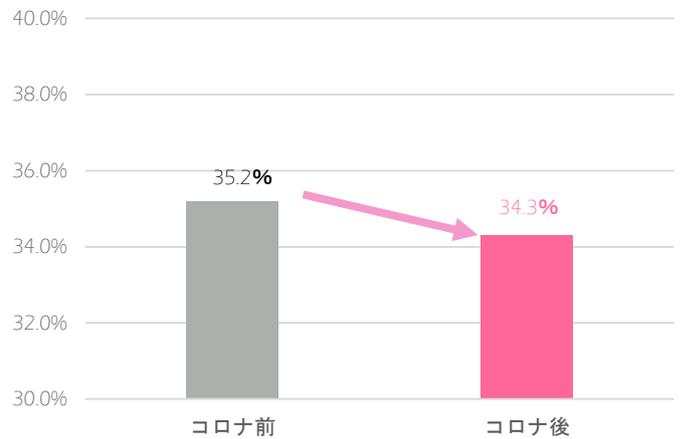
<コロナ後に良化したライフスタイル>

■「睡眠不足」回答率比較



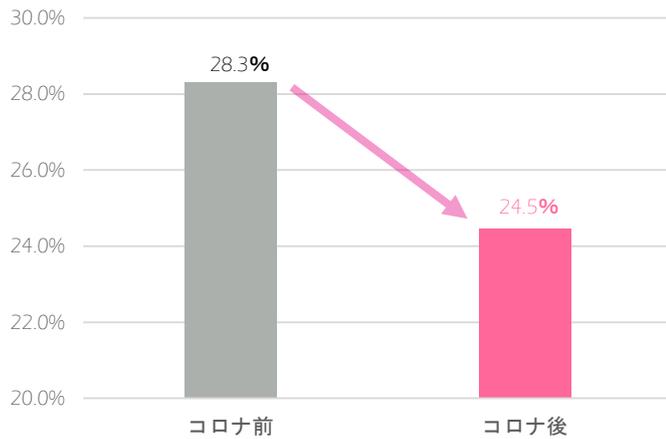
コロナ前よりもコロナ後の方が睡眠不足と回答した方の割合が減少している

■「朝すっきり起きられない」回答率比較



コロナ前よりもコロナ後の方が朝すっきり起きられないと回答した方の割合が減少している

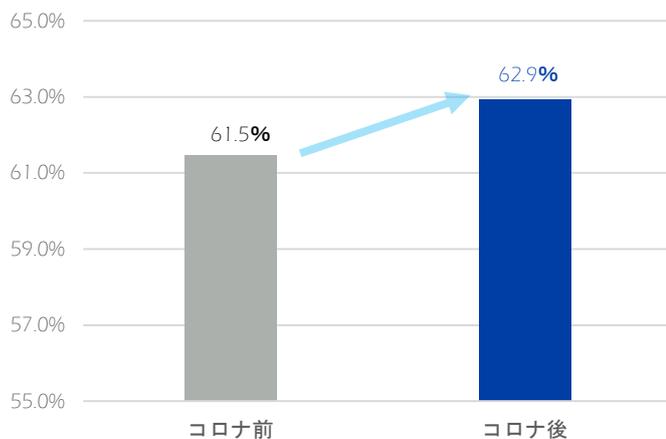
■「紫外線によくあたる」回答率比較



コロナ前よりもコロナ後の方が紫外線によくあると回答した方の割合が減少している

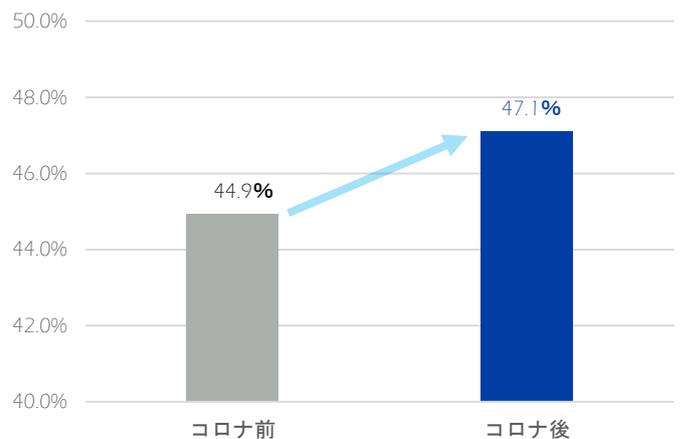
<コロナ後に悪化したライフスタイル・体調>

■「運動不足」回答率比較



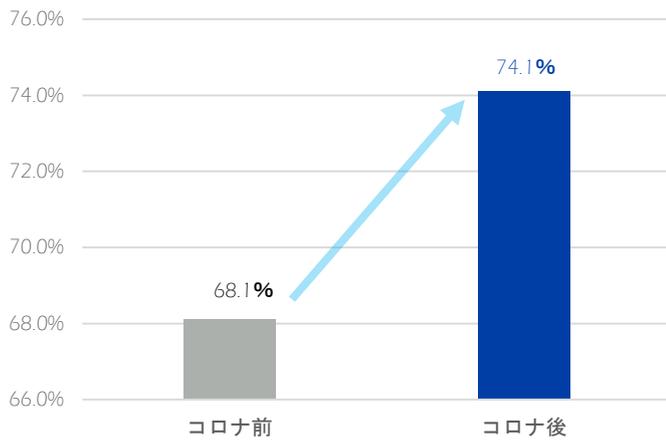
コロナ前よりもコロナ後の方が運動不足と回答した方の割合が増加している

■「顔や足がむくみやすい」回答率比較



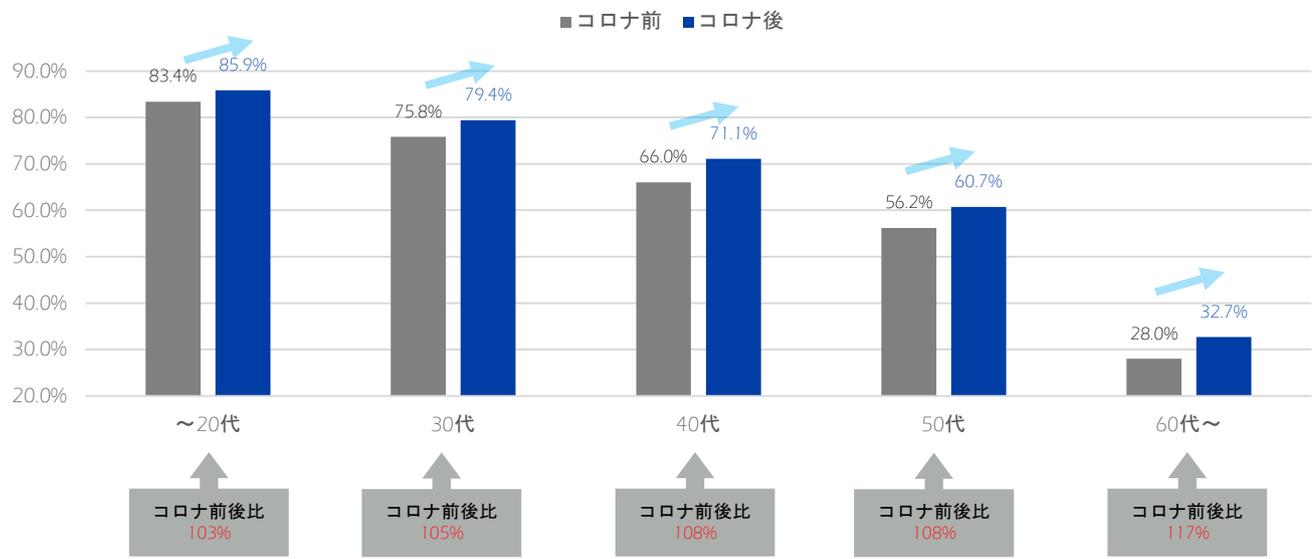
コロナ前よりもコロナ後の方が顔や足がむくみやすいと回答した方の割合が増加している

■「PC・スマホをよく見る」回答率比較



コロナ前よりもコロナ後の方がPC・スマホをよく見ると回答した方の割合が増加している

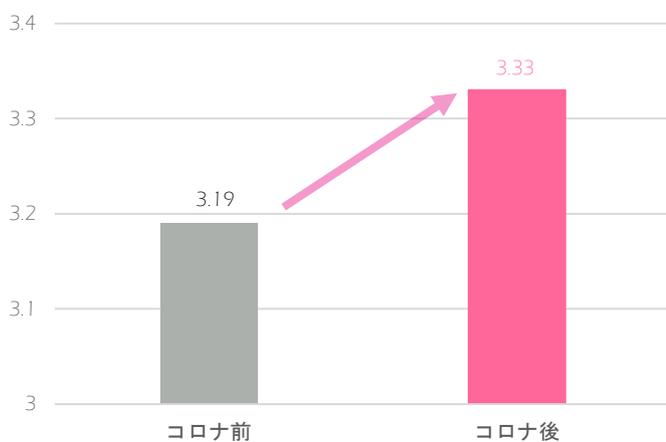
■年代別：「PC・スマホをよく見る」回答率比較



年代が上がるにつれ、コロナ前後比が大きい

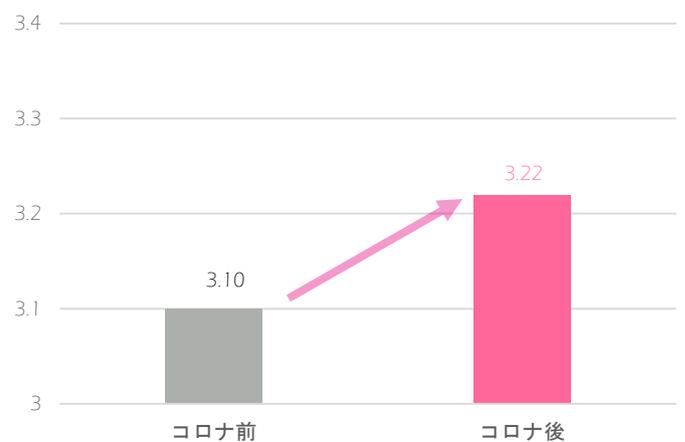
<コロナ後に良化した肌状態>

■「メラニン」結果比較



コロナ前よりもコロナ後の方がメラニンが良化している

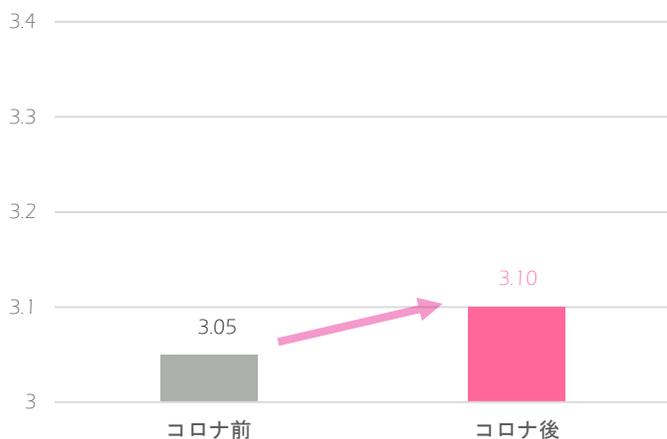
■「にごり※」結果比較



コロナ前よりもコロナ後の方がにごりが良化している

※肌の明るさが低下して暗く見えること

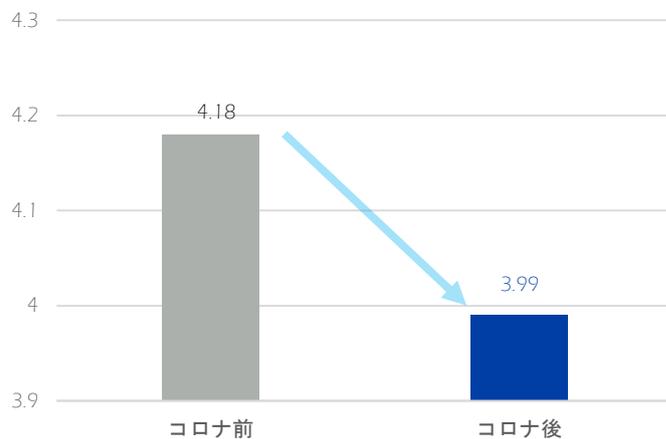
■「うるおい」結果比較



コロナ前よりもコロナ後の方がうるおいスコアが良化している

<コロナ後に悪化した肌状態>

■「ニキビリスク」結果比較



コロナ前よりもコロナ後の方がニキビリスクが悪化している

●ポーラのパーソナライズドサービスブランド「APEX（アペックス）」

1989年に誕生。ひとりひとりが思い描く未来に自分らしい肌であるために、ポーラが分析・プロダクト・パートナーで伴走者となり、様々なパーソナライズドサービスをお届けするブランド。ポーラでは、30年以上にわたり女性の肌を見続けてきたことで約1,910万件※の肌のビッグデータを蓄積し日々の研究や製品開発に活かしています。

【特徴】

- ①業界初、動画で肌表面を撮影し、肌の未来の可能性を分析。
- ②約1,910万件の肌のビッグデータから得たノウハウとAI技術を活用し、今と近い未来に現れやすい肌状態を分析。
- ③862万通りのフィッティングパターンから、お客さま一人ひとりに合ったアイテムを選ぶパーソナライズドサービスを実現。

<https://www.pola.co.jp/brand/apex/>

※2021年1月現在



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパンPOLA」のオフィシャルパートナーです。